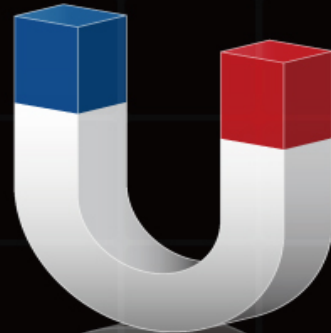


Composite Material,  
In the World

ONLY

1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押し出し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジム系等方性コンパウンド
- ・ネオジム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド



株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

BM 素心は長崎大学の福永教授にご寄稿頂いた。大学のミッションという観点で現場の実情と新しい試みについて日頃感じておられる問題点が提起されており興味深い。また、新春公開セミナーでは関東学院大学の本間教授にご講演頂いた。重要なのは、“研究と教育のバランス、奉仕精神でことを行えば問題なし、動機善なりや、私心なかりしか”との問いかけとのこと。最近私の目に留まった「科学の困ったウラ事情（有田正規 岩波科学ライブラリー 247）」では不適切な成果主義の弊害が指摘されている。こちらにも真面目に考える必要があると思う。

BM レポートには、9月の技術例会および12月のシンポジウムで「軟磁性材料技術とその応用技術の最新動向」「最先端磁性材料の発展と応用」と題してご講演頂いた内容を、講師の許可を得て再掲載した。大変貴重なデータが詰まっているので、会議に参加できなかった方にも是非参考にして頂きたい。一部図面が小さくなってしまったため見難い部分があるかと思われるが、詳しいデータが必要な場合は事務局に連絡頂きたい。講師と相談の上、対応可能なところは善処したい。

新磁石材料候補としては $\text{ThMn}_{12}$ 系の動きが楽しみである。構造安定化のためにFeをTiなどで置換するため磁化が低下してしまっている磁石としての魅力で劣っていたが、最近の研究でTi置換量の低減が可能となり磁化が高まりつつあると聞く。

軟磁性材料研究会のターゲットの一つとして圧粉磁心の規格化・標準化部会の活動が進められている。圧粉磁心はノイズフィルタやリアクトルとして電源部品に使われており、鉄損の低減は極めて重要な課題である。鉄損を正確に測定する場合には試料が均一に磁化されることが必要条件となるが、圧粉磁心は粒子同士の磁気的な結合が弱いいため薄帯の巻鉄心などに比べて透磁率が低く、リング状試料などの場合でも円周方向に均一に磁化することは比較的難しい。そのため、低透磁率・低鉄損材の場合には位相角が $90^\circ$ に限りなく近い値になるため、装置の誤差範囲内ではあっても測定値そのもののは大きく異なるという問題が生じる。したがって、測定値の信頼性を高めるためテスト試料を作製して検討を進めることになった。成果を期待したい。

機関紙編集委員長

大森 賢次